

西 ～にし～

Good News

■小川高等学校・成瀬高等学校「4年ぶりに対面で合同読書会を実施」

3月17日（金）、小川高校と成瀬高校の図書委員会は、第5回「合同読書会」を4年ぶりに対面で行いました。この合同読書会は、「JR 成瀬駅」を挟んで近隣に位置する両校の図書委員会が平成28年度より交流を兼ねて、毎年実施しているものです。今回は小川高校図書館を会場とし、小川高校が『世界から猫が消えたなら』（川村元気 著）を課題図書に選定して実施しました。

参加生徒は、小川高校が13名、成瀬高校が12名の合計25名で、両校委員会の活動報告と校内見学を行った後、4班に分かれて、ワークシートに沿って課題図書の感想を述べ合いました。最後に各班のまとめを発表して全員で共有し、先生方に講評してもらいました。

対面での読書会は初めてという生徒も多く、最初はやや緊張した雰囲気でしたが、次第に打ち解け、終わりが近づくにつれ各班から活発な話し声が聞こえてくるようになりました。

終了後、生徒からは「思った以上に会話が弾み、とても楽しかった」「ワークシートだけでなく、本の内容で気になったことについても話すことができ嬉しかった」「同じ本を読んでもここまで見方が違うんだなと改めて気づかされた」等の声が上がりました。



読書会の様子

この合同読書会も、コロナ禍でオンラインでの開催に変更するなどしてきましたが、今回、ようやく本来の形に戻すことが出来ました。

今後も、本をただ読むだけでなく、感想を共有し合うという貴重な体験を得られる合同読書会の伝統を絶やさぬよう努めていきます。

（小川高校司書・三橋 敬子、岡崎 玲子 / 成瀬高校司書・池田 祥子）

令和3・4年度のGood Newsは、以下の掲示板からご覧になれます。

[【令和4年度特集号】](#) [【令和4年度GoodNews】](#) [【令和3年度GoodNews】](#)